

株式会社 トリケミカル研究所

第31期(2009年1月期)

決算説明資料

大阪証券取引所ヘラクレス市場
証券コード:4369



目次

1. 2009年1月期連結業績	3
2009年1月期連結業績の概要	4
財政状態の概要(貸借対照表)	5
財政状態の概要(キャッシュ・フロー)	6
売上分析(ユーザー地域別)	7
売上分析(製品用途別)	8
売上分析(Si半導体)	9
売上分析(半導体向け先別)	10
2. 2010年1月期業績計画	11
2010年1月期通期戦略	12
2010年1月期売上計画	13
2010年1月期売上増減要因	14
2010年1月期売上分析(ユーザー地域別)	15
2010年1月期売上分析(製品用途別)	16
2010年1月期売上分析(Si半導体)	17
2010年1月期売上分析(半導体向け先別)	18
2010年1月期営業損益計画	19
2010年1月期営業利益増減要因	20

2. 中期経営計画	21
前回計画よりの前提の変更	22
中期経営計画(数値目標)	23
中期経営計画重点戦略:	
経営構造の改善	24
中期経営計画重点戦略:	
太陽電池向け材料の拡販	25
中期経営計画重点戦略:	
アライアンス強化	26

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

1.2009年1月期連結業績

2009年1月期連結業績の概要

単位: 千円

	08.1期	09.1期	前期比	08.10.17 計画	計画比
売上高	3,601,779	3,244,854	90.1%	3,300,000	98.3%
営業利益	686,622	371,415	54.1%	360,000	103.2%
経常利益	628,113	321,902	51.2%	350,000	92.0%
当期純利益	369,798	150,652	40.7%	165,000	91.3%
1株当たり 当期純利益	66.51円	21.67円	32.6%	23.74円	91.3%

！ ほぼ昨年10月の急変を受けての修正計画通りの数値
！ 下期における半導体業界の急速な業績悪化の影響で、
ファウンドリを中心とする台湾向け売上が対上期比半
減、前年下期との比較で6割減
！ 利益面においても急激な減収をリカバリーしきれず

財政状態の概要(貸借対照表)

単位:千円

	08.1 期末	09.1 期末	増減額
流動資産	2,057,043	1,872,546	-184,496
固定資産	1,746,797	2,181,370	434,572
資産合計	3,803,841	4,053,917	250,076
流動負債	1,372,630	1,385,022	12,391
固定負債	186,626	276,956	90,330
負債合計	1,559,257	1,661,979	102,722
株主資本	2,239,968	2,406,148	166,180
評価・換算差額等	4,615	-14,210	-18,826
純資産合計	2,244,584	2,391,938	147,354
負債純資産合計	3,803,841	4,053,917	250,076

主な増減要因 流動資産

手元資金積み増しによる現預金の増加	+90,098
売上債権回収による売掛金の減少	-378,437

固定資産

第二工場建設及び製造装置増設に伴う有形固定資産の増加	+472,711
----------------------------	----------

固定負債

第二工場建設用設備資金調達による長期借入金の増加	+90,456
--------------------------	---------

純資産

新株予約権行使及び純利益計上による増加	+147,354
---------------------	----------

財政状態の概要(キャッシュ・フロー)

単位:千円

	08.1期	09.1期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	118,212	400,843	282,630
投資活動による キャッシュ・フロー	-522,659	-584,470	-61,810
財務活動による キャッシュ・フロー	432,309	279,639	-152,670
現金及び現金同等物の 増減額	26,767	90,237	63,469
現金及び現金同等物の 期末残高	130,528	220,765	90,237

CFの状況等 営業CF

税前純利益計上、売上債権減少	+695,528
法人税等支払	-350,576

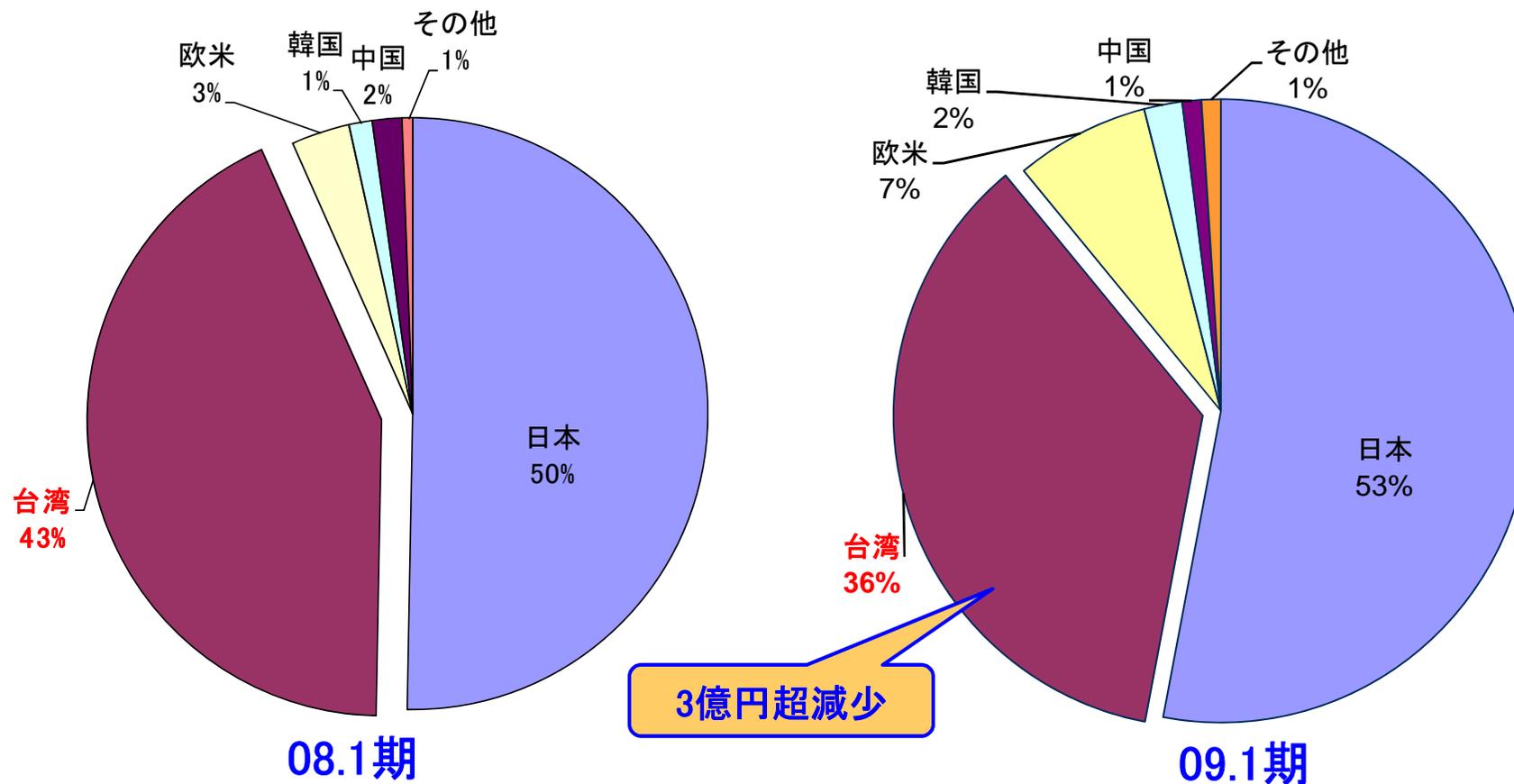
投資CF

有形固定資産の取得	-581,347
-----------	----------

財務CF

株式の発行	+70,000
長期借入	+220,000

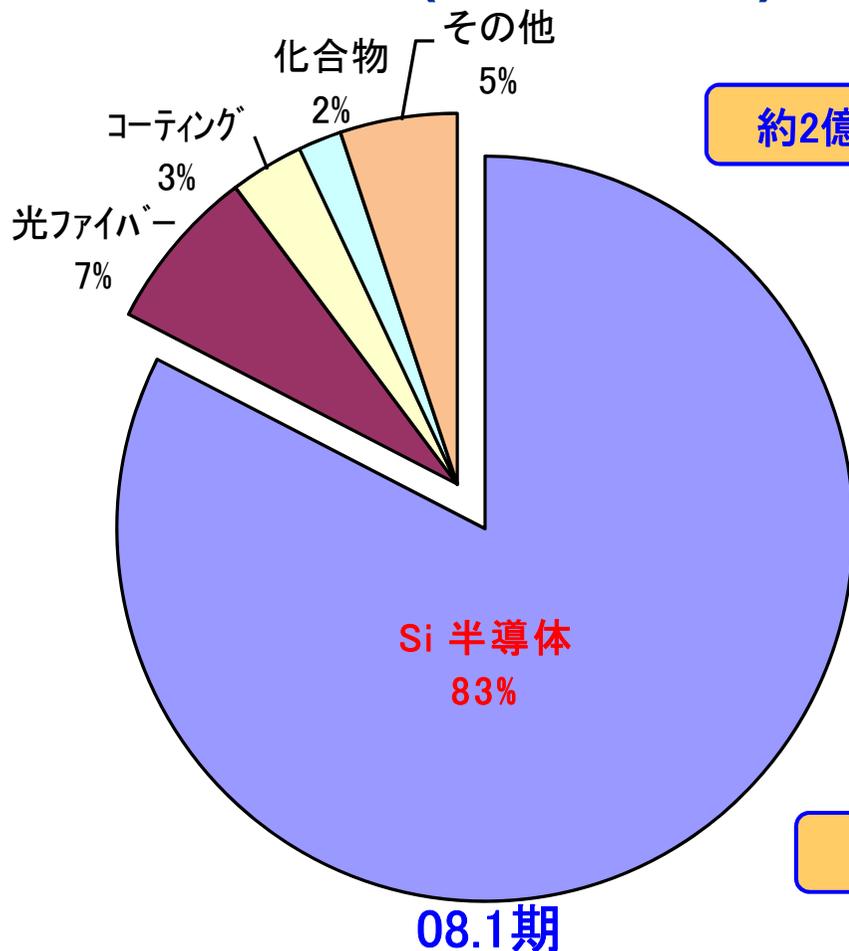
売上分析(ユーザー地域別)



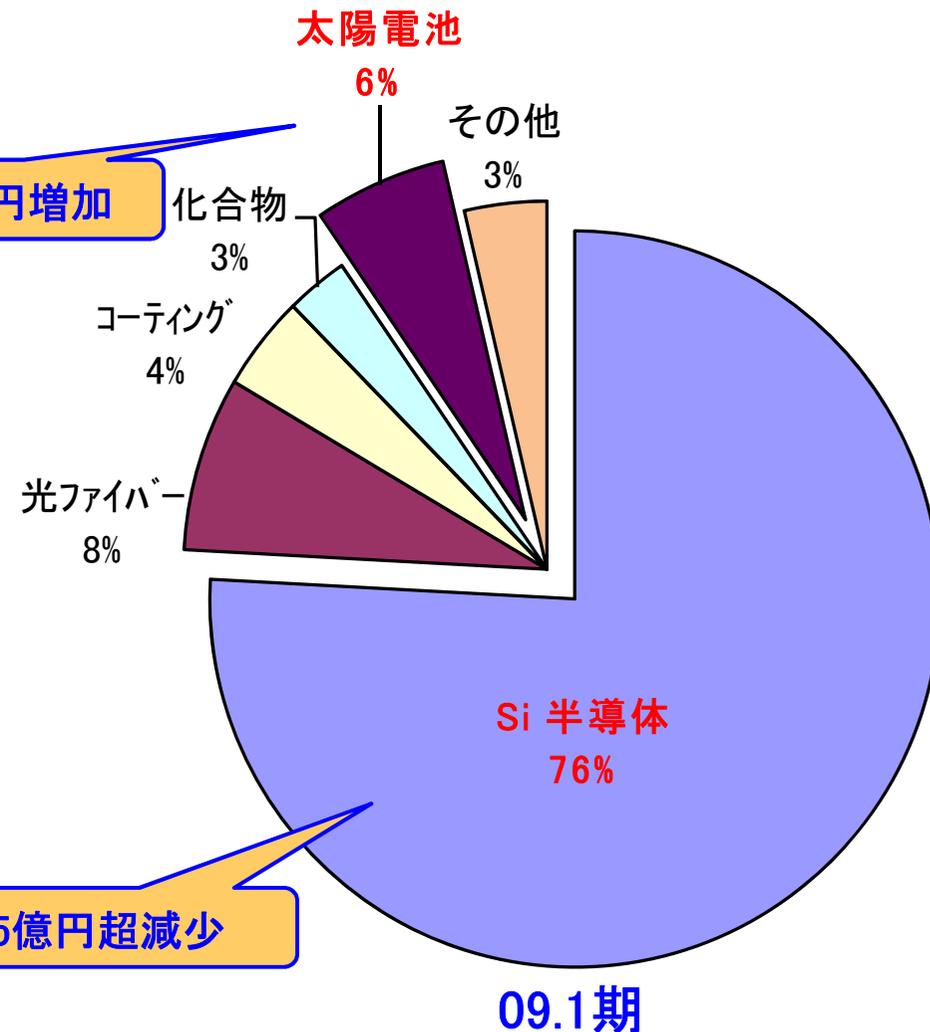
！海外(台湾)向け売上が大幅減

※当社推定による概算値

売上分析(製品用途別)



約2億円増加

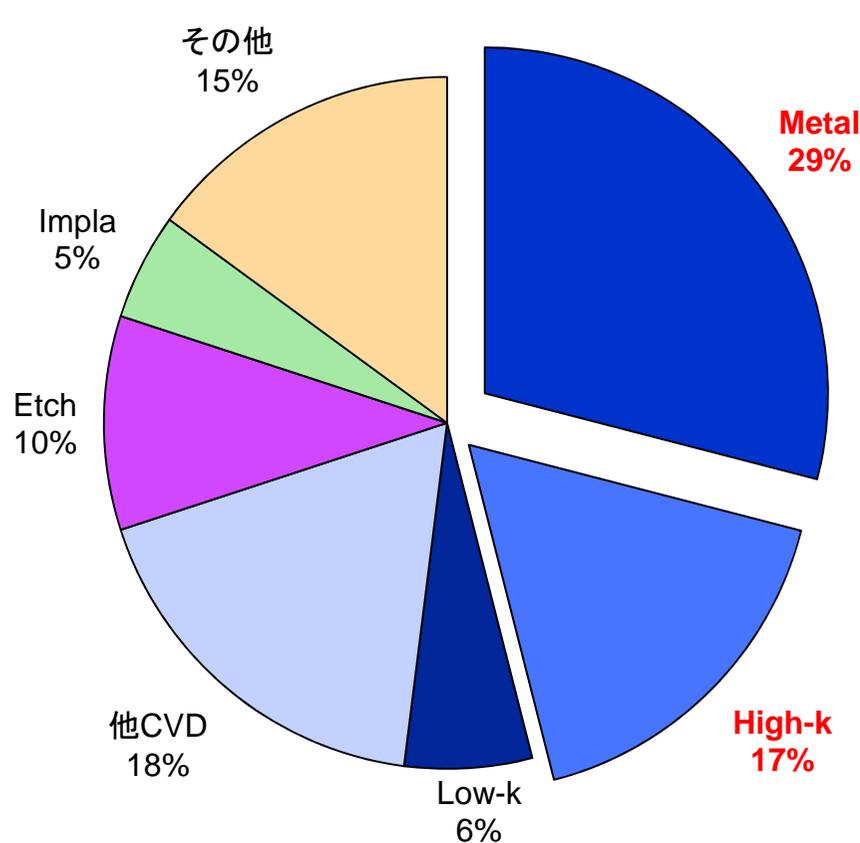


5億円超減少

！主力のSi半導体向けの落ち込み

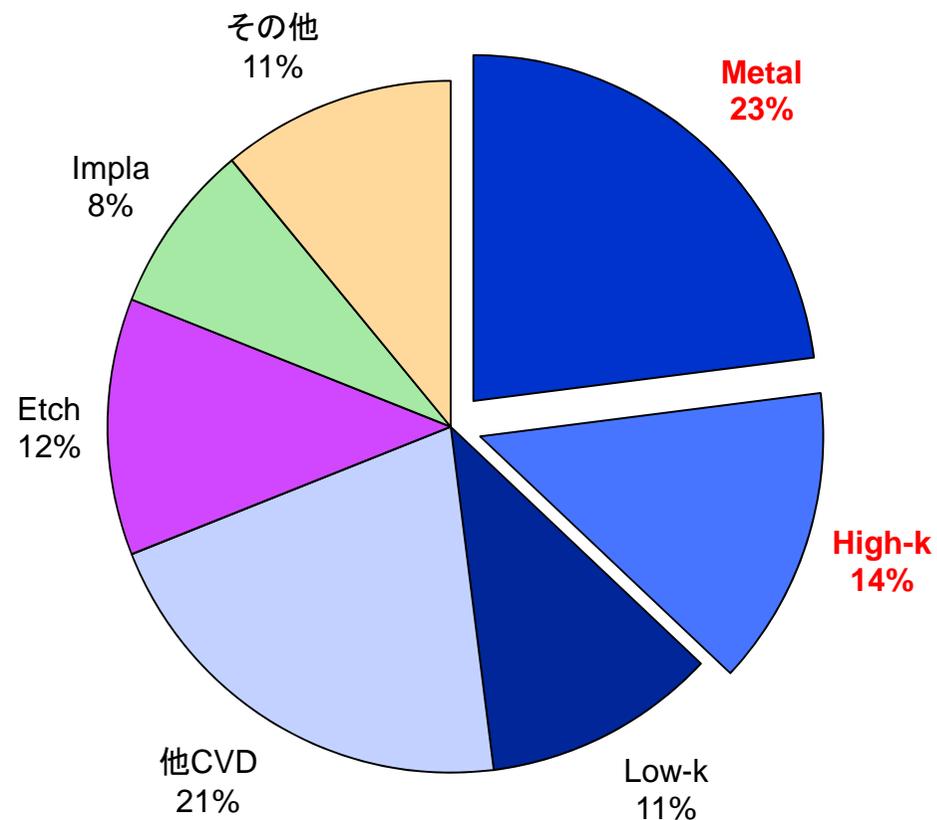
※当社推定による概算値

売上分析(Si半導体)



08.1期

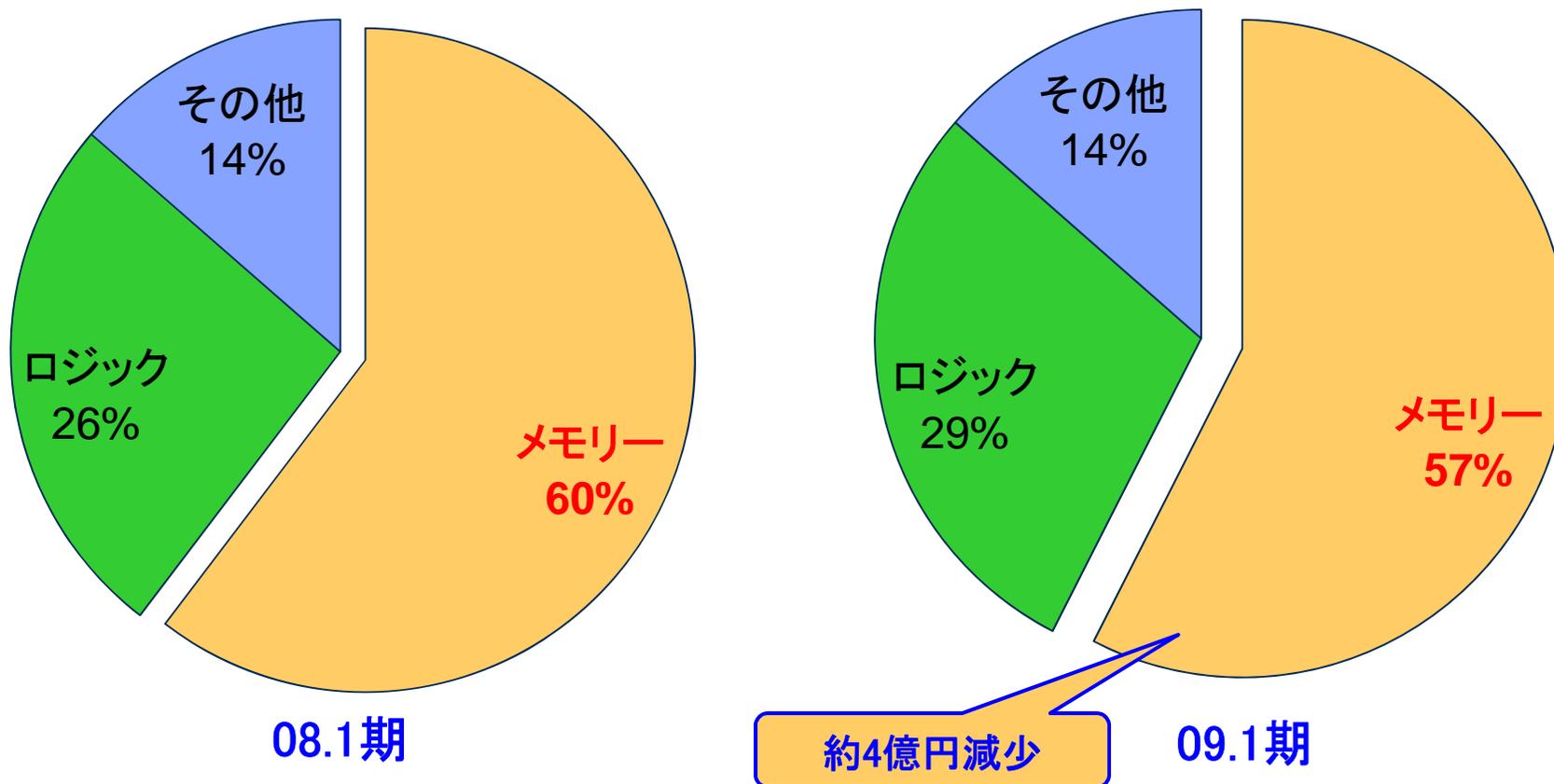
※当社推定による概算値



09.1期

! Metal CVD・High-kの減少が半導体売上減の要因

売上分析(半導体向け先別)



※当社推定による概算値

！年度後半から全般的に大幅減

2. 2010年1月期業績計画

2010年1月期 通期戦略

現状認識と課題

- ・主力販売先である半導体業界の動向は当面不透明
- ・不況以前の成長路線を前提とした人材・設備への投資により損益分岐点が上昇
- ・特に下記施策の効果が希薄な第1四半期が業績的には底

今期の取り組み・施策

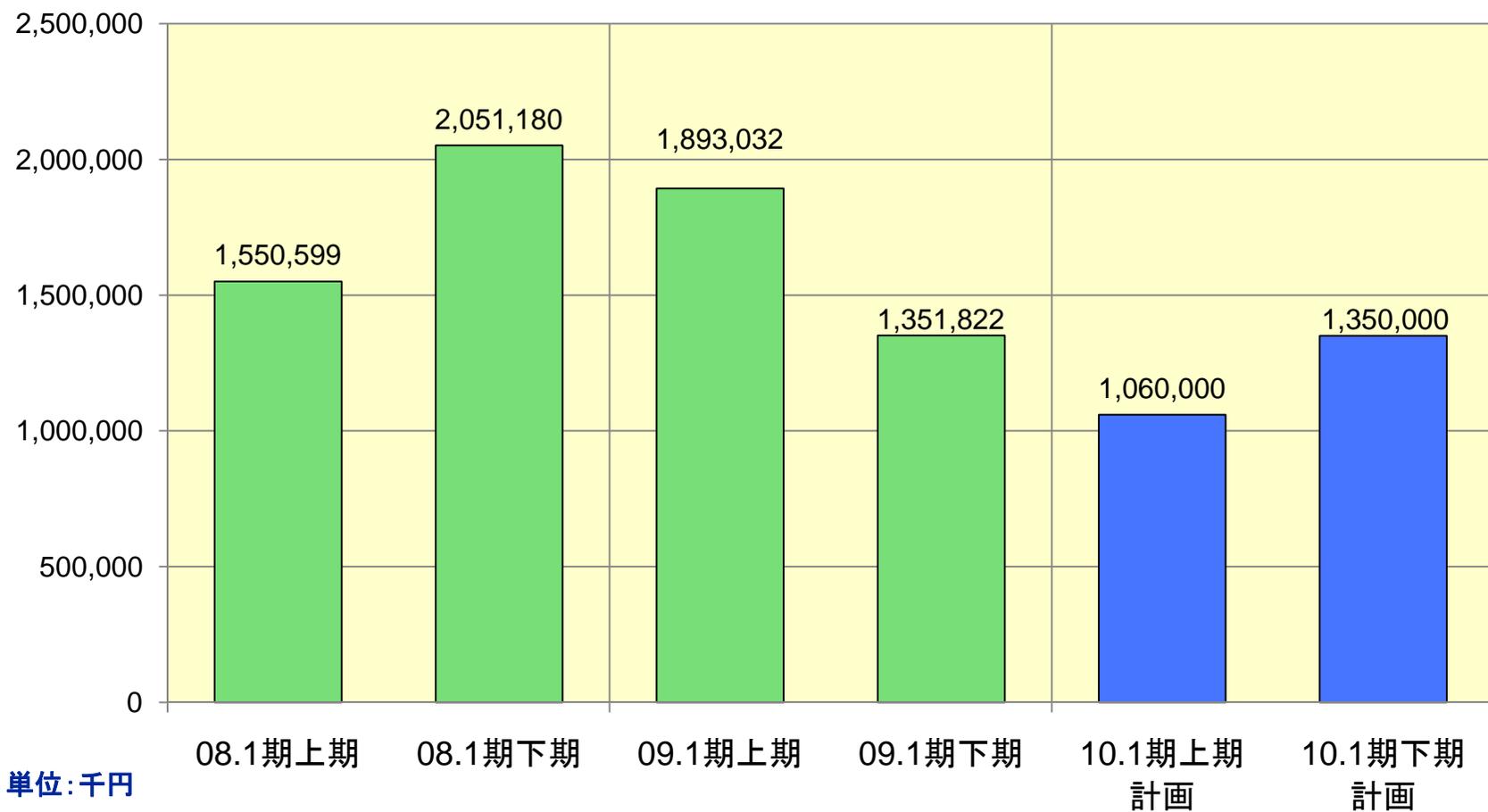
1.太陽電池向け材料の成長促進

- ・今期総売上の約20%
- ・半導体に次ぐ新たな事業の柱に成長

2.収支構造の改善

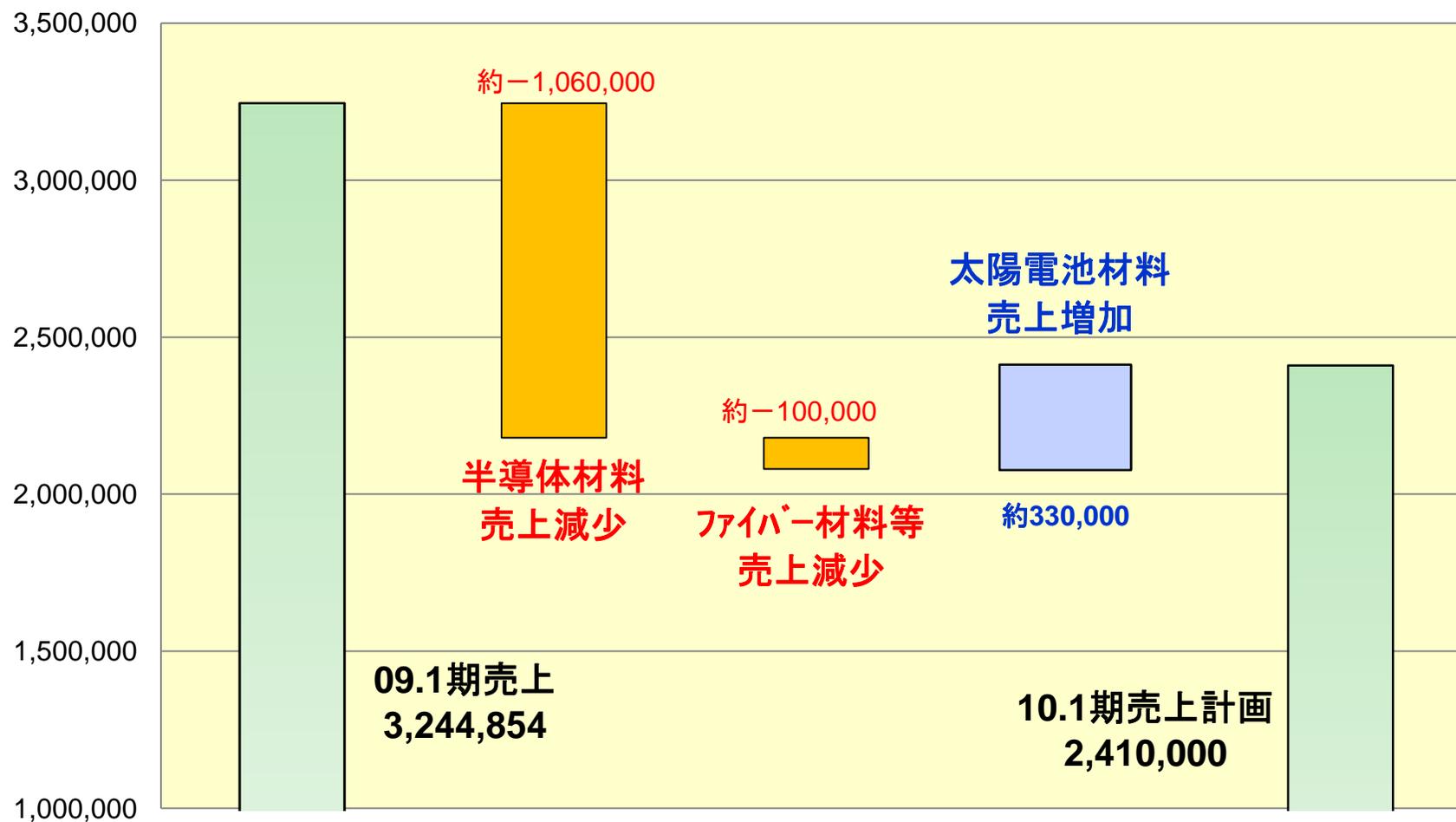
- ・役員報酬・経費削減等徹底した効率化

2010年1月期売上計画



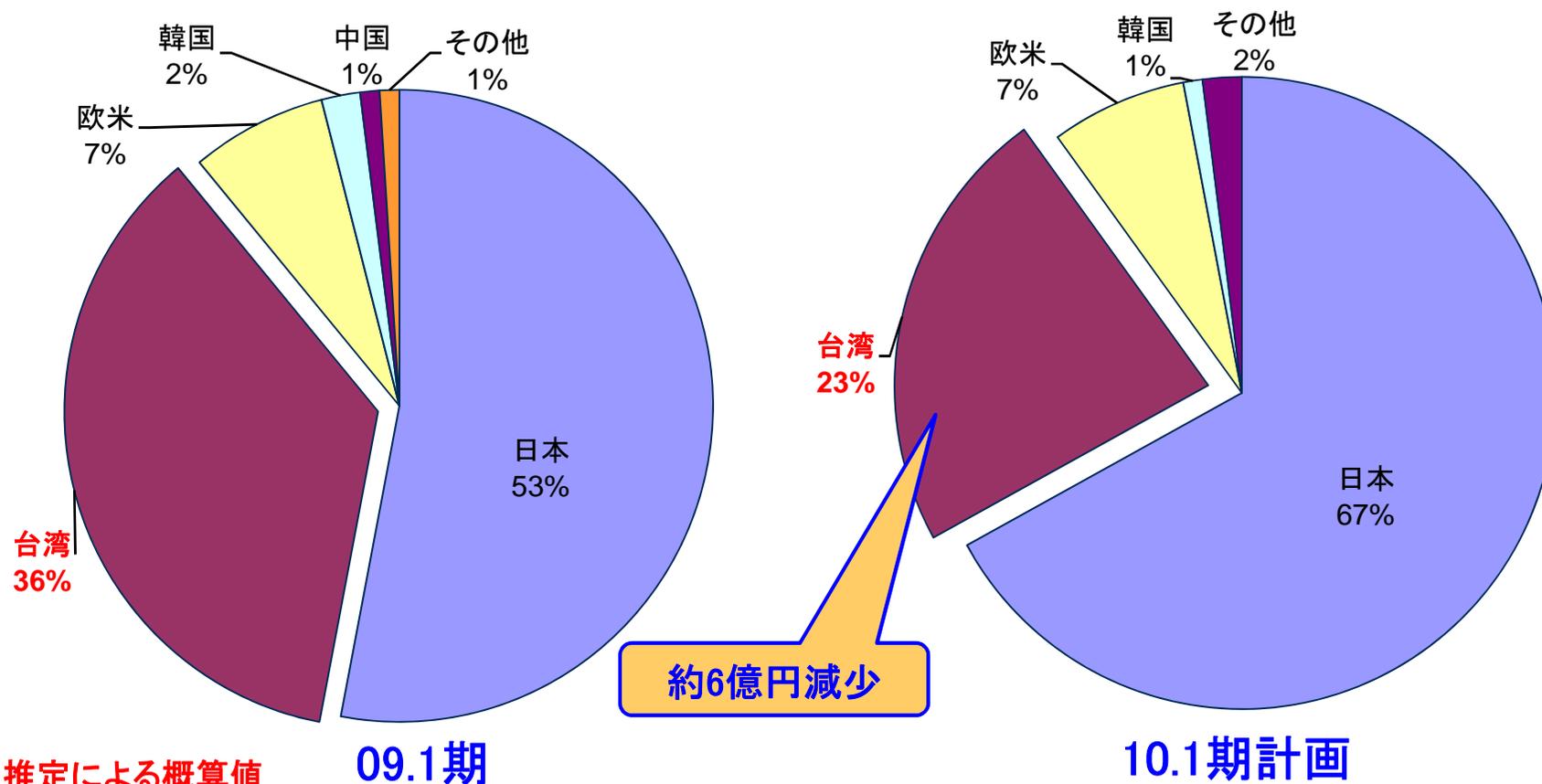
！特に今期前半は09.1期後半よりの半導体不況の影響が続く

2010年1月期売上増減要因



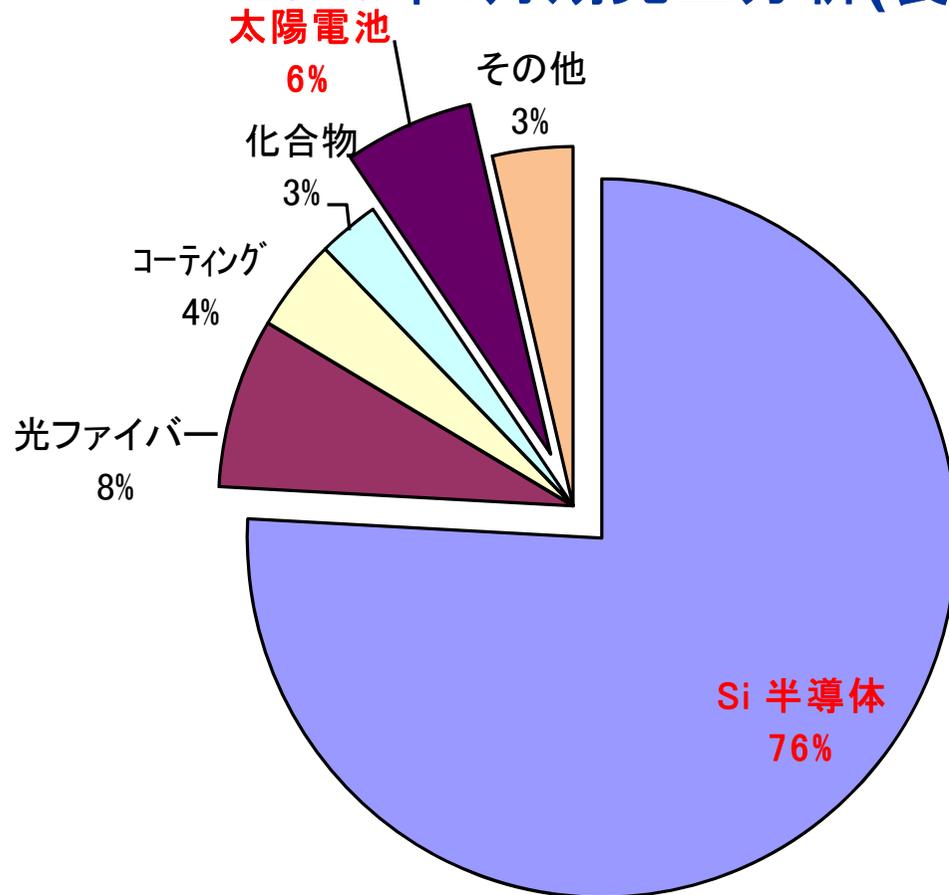
単位：千円

2010年1月期売上分析(ユーザー地域別)



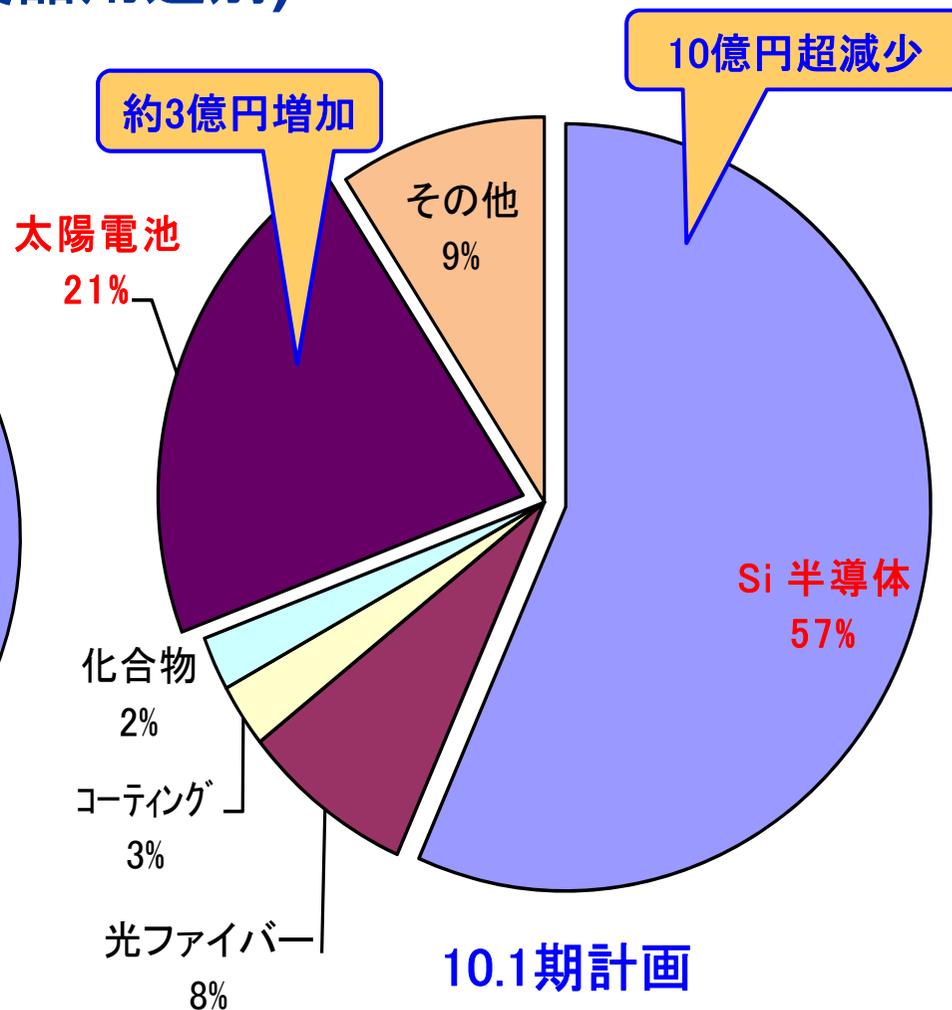
！台湾半導体向けの減少が顕著

2010年1月期売上分析(製品用途別)



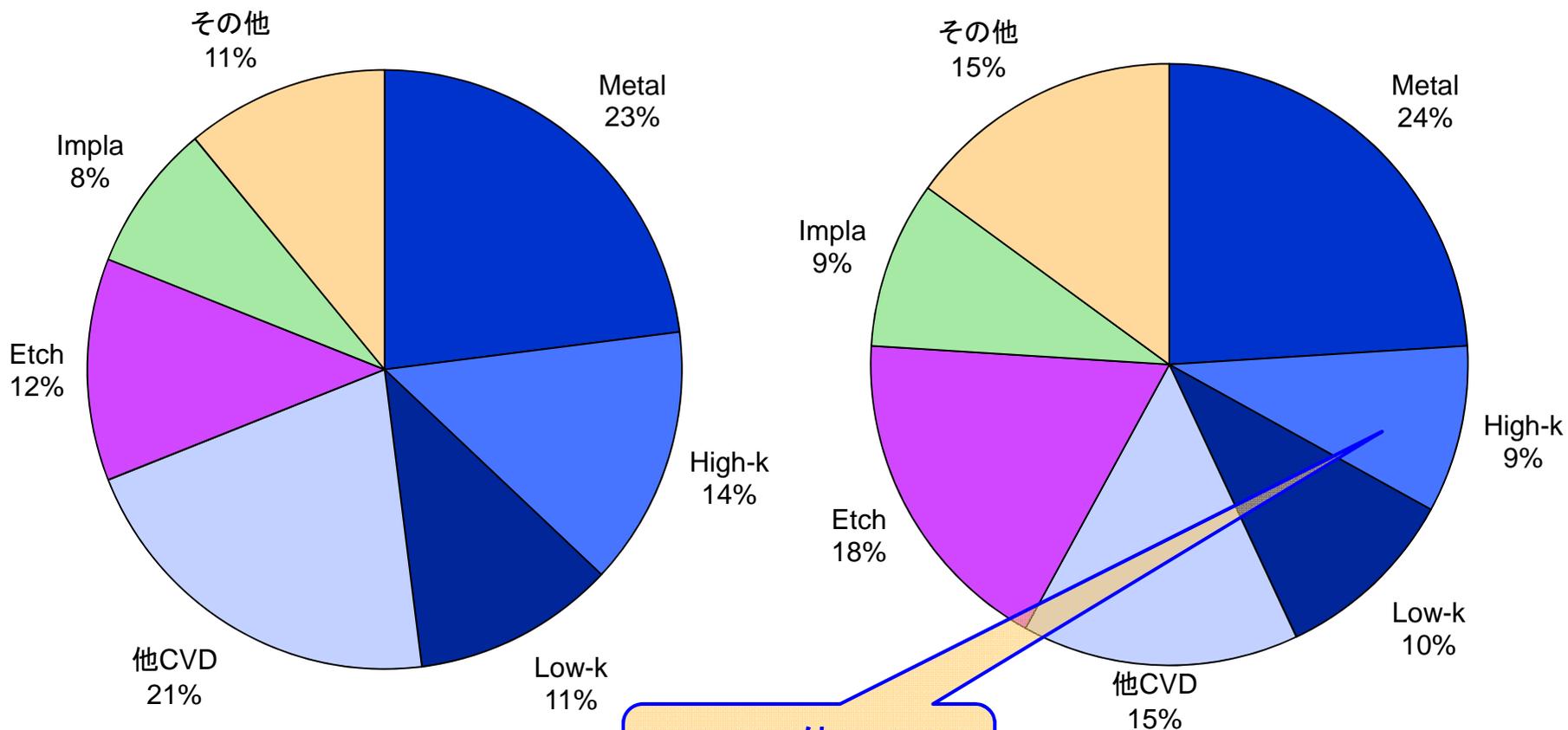
※当社推定による概算値

09.1期



！ 太陽電池向け売上の増加→新たな柱に

2010年1月期売上分析(Si半導体)



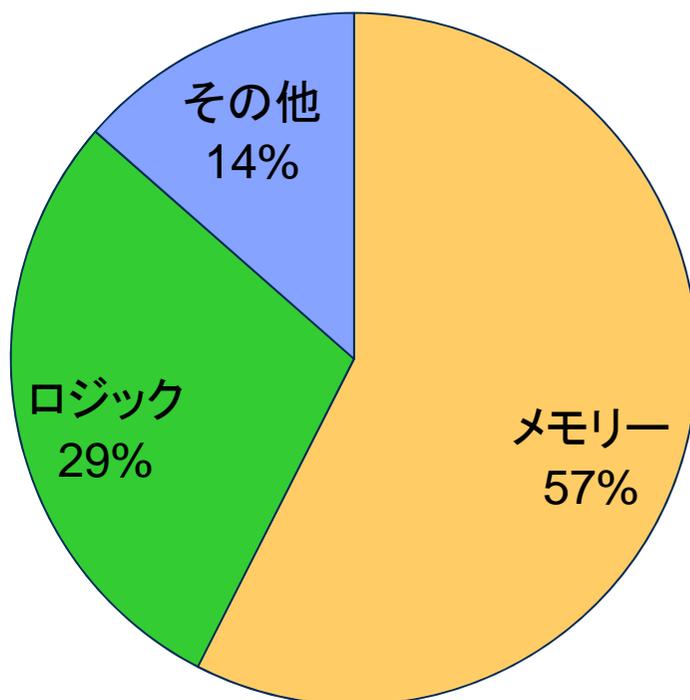
※当社推定による概算値 09.1期

Metal～他CVDで
8億円超減少

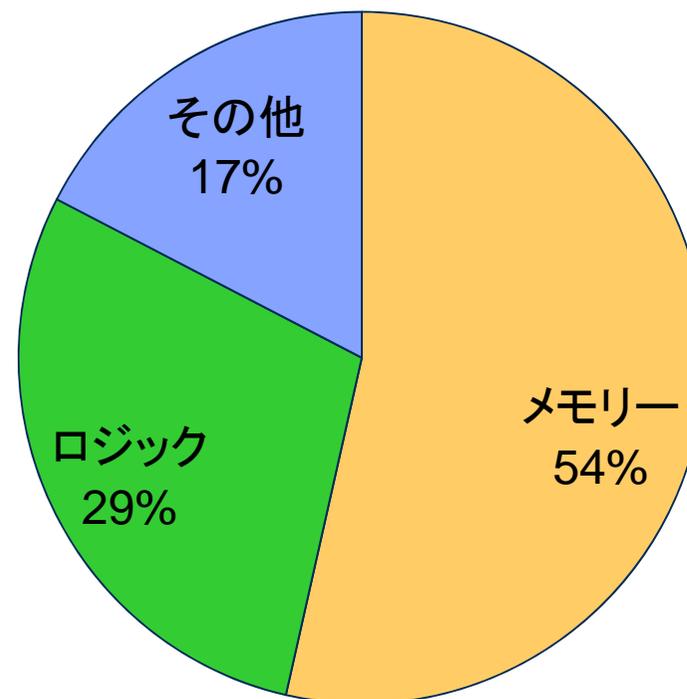
10.1期計画

！ CVD系材料(Metal～他CVD)は全般的に低調に推移

2010年1月期売上分析(半導体向け先別)



09.1期



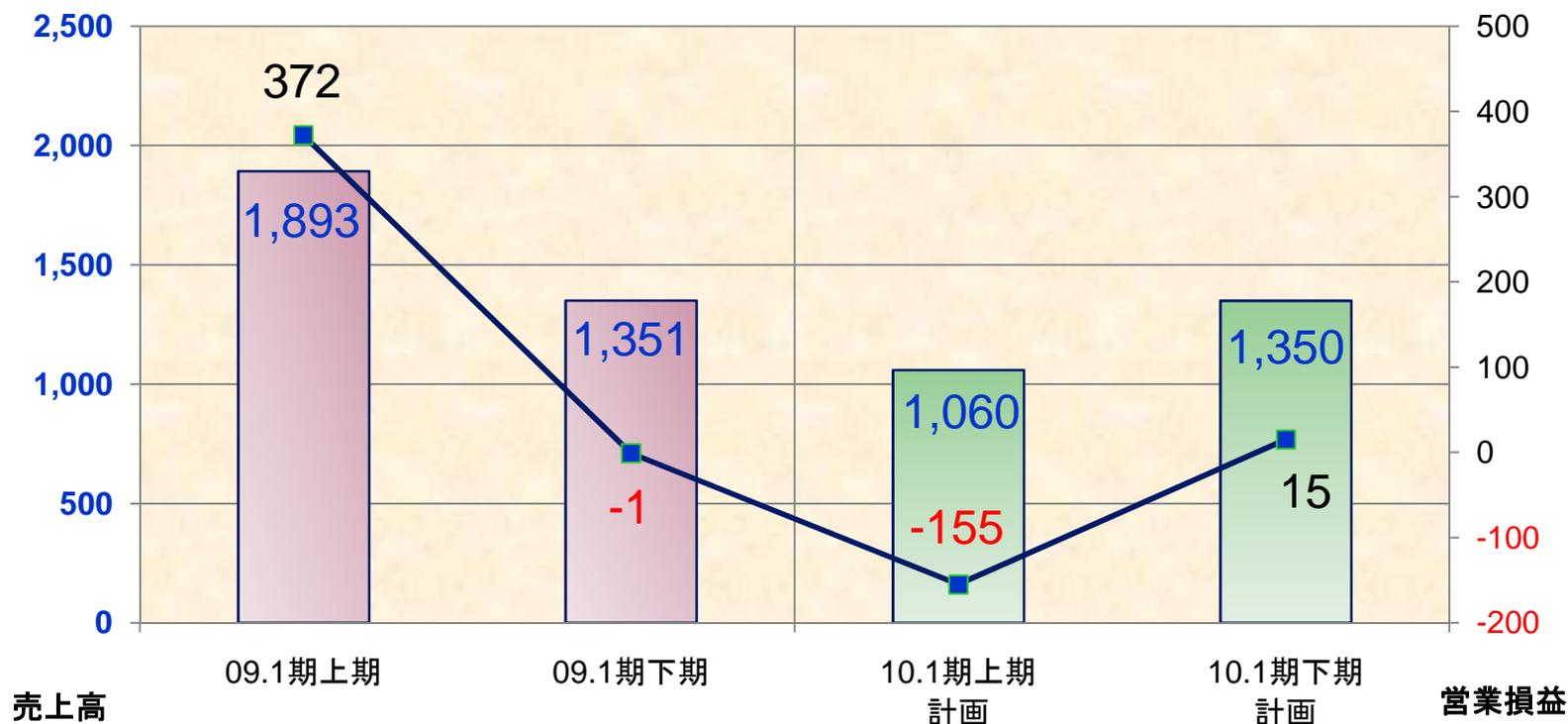
10.1期計画

※当社推定による概算値

！半導体は全般的に落ち込む
！回復には時間を要する見込み

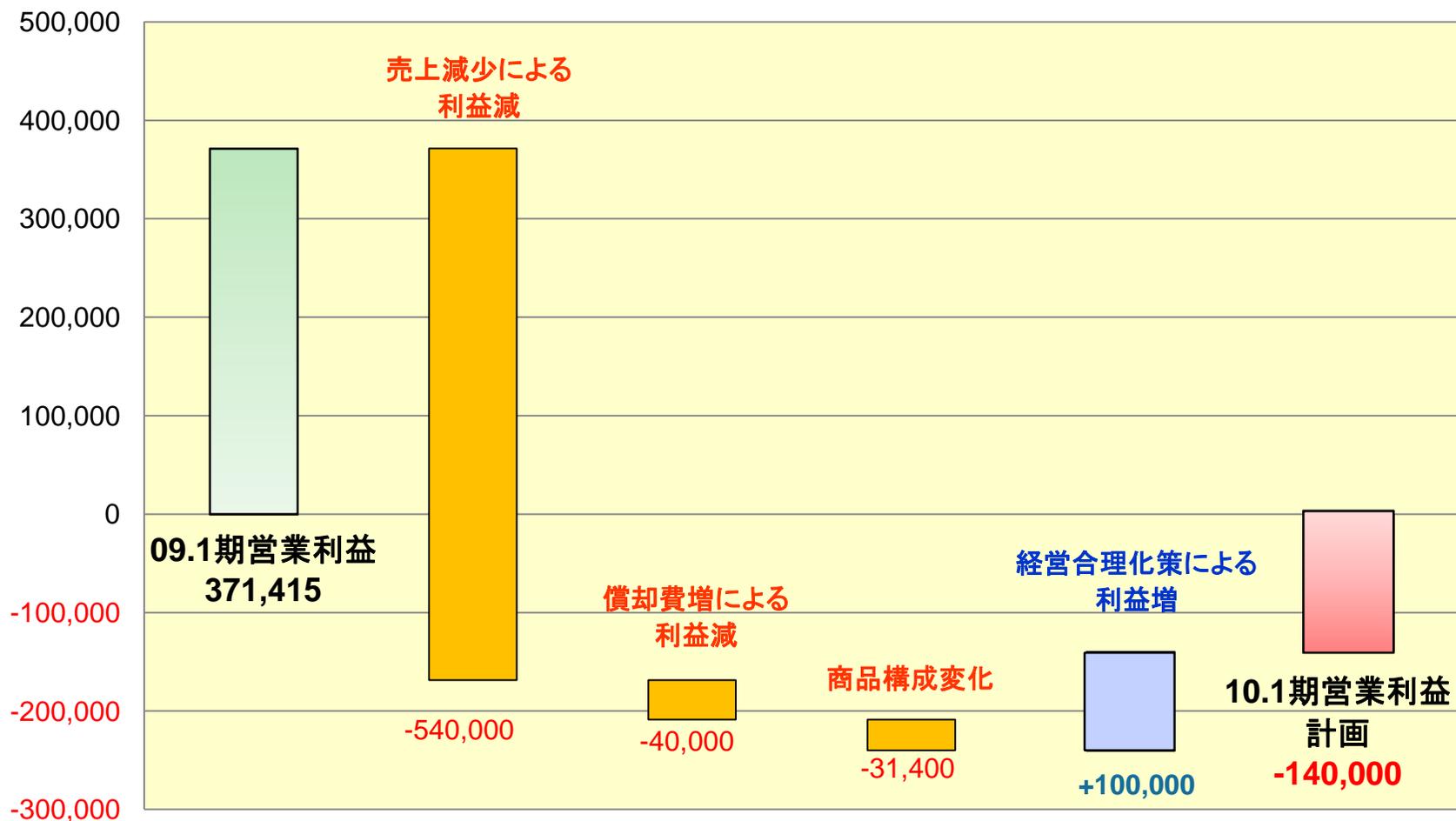
2010年1月期営業損益計画

単位:百万円



！ 上期、特に第1四半期は半導体向け材料の落ち込みを受け低調に推移する見込み
！ 半導体は当面調整局面も、太陽電池向け材料の販売量増により下期にかけて徐々にリカバリー

2010年1月期営業利益増減要因



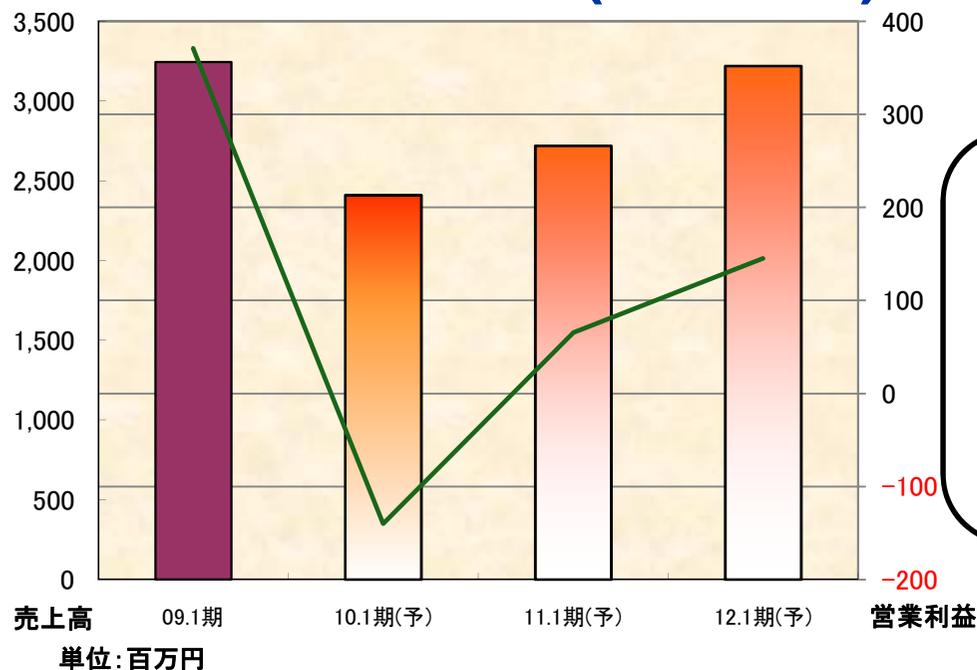
単位：千円

3. 中期経営計画

前回公表計画よりの前提の変更

08.10.17発表計画前提	今回の変更点
1. 為替は100円/米ドルを中心に推移	90円を想定
2. 市場は10.1期下期に下げ止まり、徐々に回復基調に移行	半導体市場は当面調整局面が続く
3. 価格下落は一部製品に織り込む	変更なし
4. 設備投資計画及び償却費推移(概算額・百万円)	再度見直し (百万円)
	10.1期 11.1期 12.1期
投資総額	650 400 400
償却費総額	310 330 350
	350 230 320
	250 260 270
5. 原油価格、輸送コストは現状のまま推移	変更なし
6. 増員計画	増員はなし
10.1期 6名 11.1期 6名 12.1期 5名	
7. 資金調達	金融機関スタンスに変化なし
09.1期に短期より長期への切換え 約5億円	実行済み

中期経営計画(数値目標)



全体目標

- a) 11.1期よりの黒字回復
- b) 外部環境回復局面において新たな成長路線にいち早く移行するための体制整備・維持

単位: 百万円

	09.1期	10.1期計画	11.1期計画	12.1期計画
売上高	3,244	2,410	2,720	3,220
営業利益	371	-140	65	145
経常利益	321	-175	40	130
純利益	150	-181	33	123

中期経営計画重点戦略：経営構造の改善

1. 経営効率の向上推進

- ・全社全部門において省力化・合理化を推進
- ・人員・投資計画見直しを含む徹底した諸費用の圧縮・削減

→強固な収益体制の確立

2. 役員報酬の減額

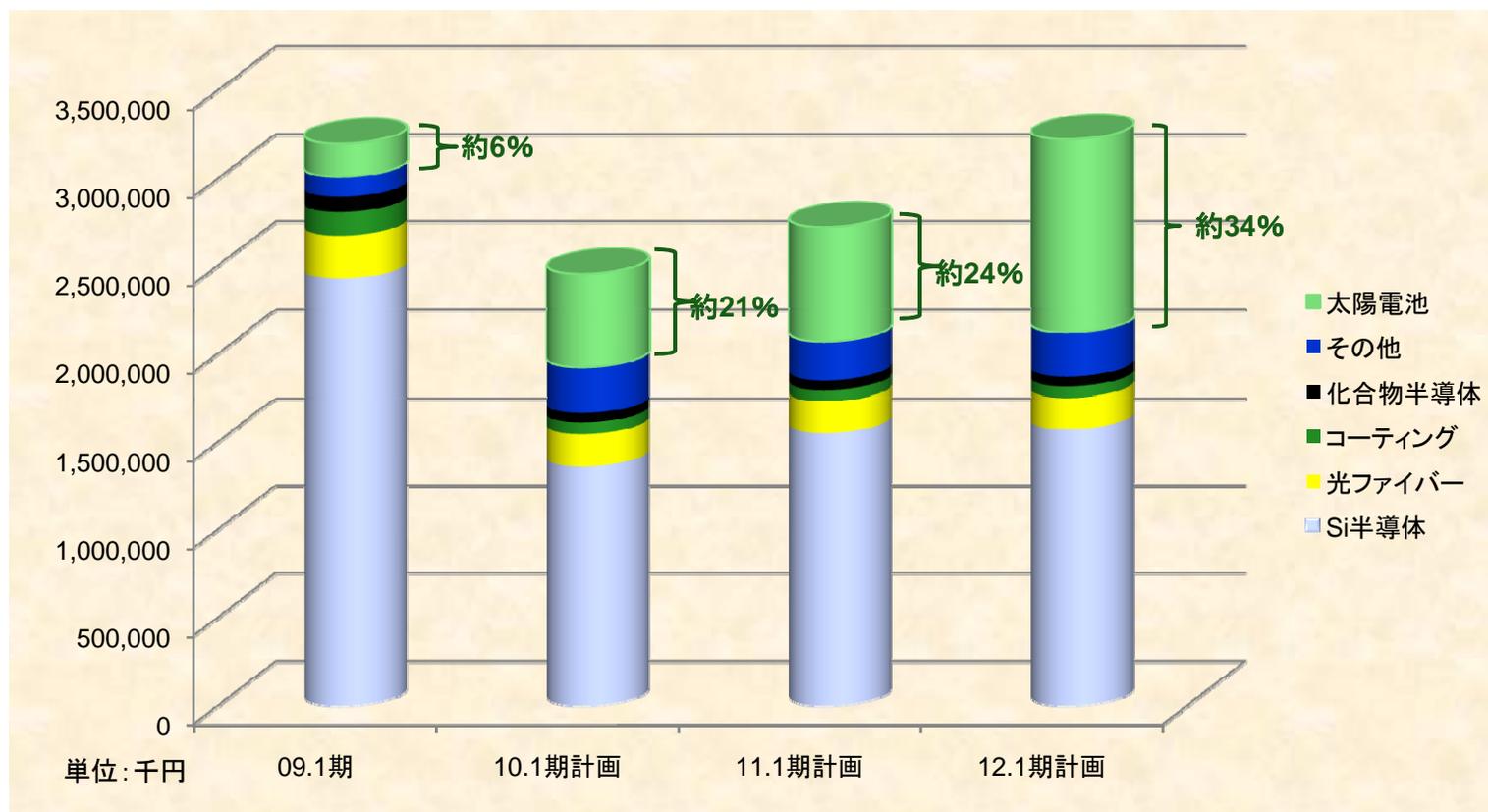
- ・当面30%～10%の報酬減額

3. 従業員賞与の減額

- ・当面計画の進捗に応じ支給額見直し

中期経営計画重点戦略：太陽電池向け材料の拡販 半導体向け材料に肩を並べる新たな事業の柱へ

中期販売計画(製品用途別)



中期経営計画重点戦略:アライアンス強化

1.外部との開発連携強化

- ・半導体メーカー・半導体製造装置メーカー・大学・研究機関等との連携強化
- ・開発スピードアップと裾野拡大を目論む

2.JSRとのコラボレーション進捗状況

業務提携の内容

- (1) JSRが開発した半導体製造工程において使用する複数のファインケミカル材料の当社への製造委託
- (2) 製造委託の過程で必要となる製造プロセスの共同開発
- (3) 製造委託及び製造プロセス開発の過程で蓄積されるノウハウの共有
- (4) 製造委託に関連して派生する分野におけるファインケミカル材料の共同開発・共同事業の可能性に関する検討
- (5) 当社が開発したファインケミカル材料に関し、JSRが保有するグローバルインフラの活用による物流・市場開拓支援の検討

※上記提携による影響は本計画には織り込んでいない



お問合せ先 : homepageinfo2@trichemical.com